

情報・数量スキル

1. 授業の目的（授業のねらい）

コンピュータの基本事項や情報の概念を理解し、ネットワークの利用、ソフトウェア（ワープロ、表計算ソフト、プレゼンテーションソフト等）の活用、情報セキュリティ・情報倫理などについて学ぶ。さらに、ICT を用いて、多様な情報を収集・分析して適切に判断し、それらを情報倫理に則って効果的に活用できる技能（情報リテラシー）と、数量で示された事象を表やグラフで適切に表現し初歩的な統計判断を行うことができる技能（数量スキル）を修得する。

2. 到達目標（育成する資質・能力）

- ① 大学のネットワークシステムを理解し、必要な学務上の作業を行うことができる。
- ② ワープロ、表計算ソフト、プレゼンテーションソフトを使用できる。
- ③ インターネットを通して多様な情報を収集、取捨選択し、それらを効果的に活用できる。
- ④ 情報セキュリティ・情報倫理について基礎知識を持ち、それに基づいて行動できる。
- ⑤ 情報、数量の意味する内容（できれば地域資料）について、適切な表やグラフで提示できる。
- ⑥ 統計学の初歩的な技能（基礎統計量、初歩的検定の意味等）を理解し、分析に活用することができる。

3. 授業内容・方法（シラバス）

①15回の授業構成

- ・ 情報リテラシー（PC・ネットワークの設定等：3回）
- ・ 情報セキュリティ・情報倫理：2回
- ・ 文書作成・プレゼンテーションソフト等：5回)
- ・ 数量スキル（表計算ソフト：5回）

②各回の授業内容

①の回数を確保し、それぞれの詳細な内容については、実施部会・授業担当者において検討する。情報セキュリティ・情報倫理に関しては、内容を情報基盤センターから提案する。数量スキルについては、共通の内容（標準的な内容）や教材・資料を策定し、実施の参考とする。

4. 成績評価方法

当面は、情報科学入門で実施されてきた、各学部（各クラス）のこれまでの評価方法（レポート、発表と相互評価、試験、コンテンツやソフトの課題実施等）を踏襲するが、将来的には、他のアクティブラーニング科目の評価方法も参考に、各学部レベルでの評価方法を検討する。

5. 参考資料

「情報・数量スキル」部会の検討結果、及び詳細なシラバスの記入内容例については、下記 URL を参照のこと。

URL: <http://www.miyazaki-u.ac.jp/cess/undergraduate/doc/joho.pdf>